

從日文學習者的 PISA 閱讀問題思索日語閱讀教育的改善對策 -以某校日文系大二學生為例-

封靜宜

靜宜大學 日本語文學系 助理教授

摘要

經濟合作暨發展組織的閱讀素養以新的學習觀為背景應運而生。今後日語閱讀教育也將符合世界潮流做轉變。澄清日語學習者PISA閱讀的問題點，並基於問題點思索日語閱讀教育的改善策略是有必要的。本研究以某大學日文系2年級班級為對象，比較「文章形式」「閱讀層面」「出題形式」三要素的PISA閱讀理解得分。結果顯示，日語學習者在「反思與評鑑」及「建構反應題」上有問題。綜合上述結果與教育環境檢討日語閱讀教育的改善對策。

關鍵詞： 閱讀素養、擷取與檢索、統整與解釋、反思與評鑑

日本語学習者の PISA 型読解の課題から読解指導の改善策を考える —ある大学の日本語学科 2 年生を例に—

封静宜

静宜大学日本語学科助理教授

要旨

経済協力開発機構の読解リテラシーは新しい能力観の変容を背景に生まれた新しい読解観である。これからの日本語読解教育も世界の潮流に合わせて転換していくと考えられる。よって、日本語学習者のPISA型読解の課題を明らかにし、それに基づいて日本語読解教育の改善策を考えることが必要がある。その第一歩として、本研究はある大学の日本語学科2年生を対象に、日本語のPISA読解の得点を「文章形式」「読みの側面」「出題形式」の3つの要因により比較した。その結果、学習者はテキストの熟考・評価や自由記述式の問題に課題があるということがわかった。この結果と教育現場の状況を考え合わせて、日本語読解教育の改善策を検討した。

キーワード：読解リテラシー、情報の取り出し、統合解釈、熟考評価